

九州経済国際化推進機構



平成25年度事業報告

平成26年4月

<総括>

九州経済国際化推進機構では、これまで産業交流を推進してきた中国、韓国及びアセアン地域との協力関係を構築し、九州企業のアジア展開を支援するため、九州一体となって、

1. 九州地域の情報発信、2. 九州と海外との産業交流、3. 外国企業誘致支援、4. 留学生との交流事業を展開してきたところ。

平成25年度においては、定期会合である環黄海経済・技術交流会議を中国連雲港市で、九州・韓国経済交流会議を韓国釜山市でそれぞれ開催。他方、ASEANとの経済交流事業では、ベトナム、タイ、インドネシアと締結したMOUのフォロー事業として、ベトナム、インドネシアに経済交流ミッションを派遣、タイとは展示会への出展事業、BOI招聘事業を行う等、協力関係の強化を進めてきた。

また、多様化する九州企業の海外展開ニーズを把握し、今後の事業企画に反映させることを目的として「海外展開実態調査」を行った。

<個別事業>

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 情報提供・発信<九州地域の情報発信> | ・・・P3～6 |
| 2. 産業交流・販路開拓支援事業<九州と海外との産業交流> | ・・・P7～16 |
| 3. 対日投資促進事業<外国企業誘致支援> | ・・・P17～19 |
| 4. 人材交流<留学生との交流> | ・・・P20～23 |

(1) 情報提供・発信事業

データ収集、情報提供、情報発信、広報

- 九州の海外交流データを収集・分析するとともに、国内企業等に対しては、海外展開に資する情報提供を実施(冊子作成、セミナー開催等)。
- 国内外に向けて九州のビジネス環境等をホームページ等で情報発信。

データ収集・分析

●『九州経済国際化データ2013』

- ・九州とアジアとの経済交流(貿易、人的交流等)にかかるデータ等を収集、分析。

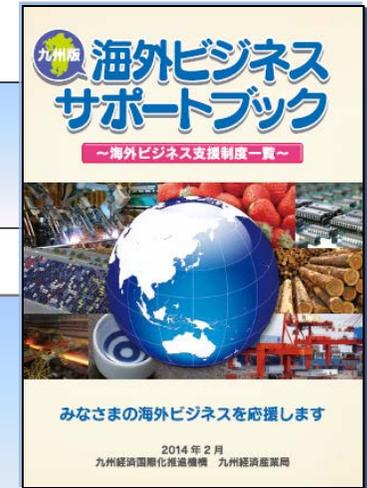
国内への情報提供

●『海外ビジネスサポートブック』

- ・国、地方自治体、関係機関等の海外展開支援制度等を取りまとめ。

●『海外ビジネスサポート通信』

- ・施策情報、イベント等、タイムリーな海外ビジネスに関する情報を週1回程度メール配信。(約2,000名が登録)



国内外への情報発信、広報

●『九州のビジネス環境』

- ・九州の産業集積等、ビジネス環境、投資環境等を掲載。

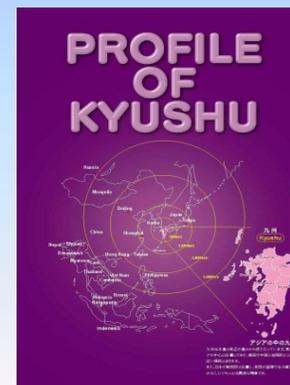
●『PROFILE OF KYUSHU』

- ・九州の経済データや観光情報を掲載。(九州に関する基礎知識)

●上記情報等は、インターネット等を活用して「九州」をPR

(当局HP) <http://www.kyushu.meti.go.jp/>

(九州経済国際化推進機構HP) <http://kyushu-kei.org/>



- 在福岡アメリカ領事館と連携し、世界的に有名なベンチャーキャピタルであるサンブリッジ社のアレン・マイナー氏を招き、起業家育成・イノベーション創出セミナー『日本のベンチャーは本当に世界に挑めるか?』を開催。

<飯塚会場>

日 程：平成25年5月30日(木) 17:00~20:00
場 所：九州工業大学情報工学部2102教室(飯塚市)
参加者：200名

<宮崎会場>

日 程：平成25年5月31日(金) 15:00~17:00
場 所：KITENビル(宮崎市)
参加者：100名

<福岡会場>

日 程：平成25年6月1日(土) 13:00~18:00
場 所：福岡大学831教室(福岡市)
参加者：500名



講師：アレン・マイナー氏



○ 海外展開に係る実態調査(アンケート調査)

内外の環境変化を踏まえ、九州企業の海外展開のニーズや課題、海外人材の活用状況等の実態を調査するためのアンケートを実施。海外展開に係る現状を把握するとともに、各種支援施策をより企業のニーズにマッチしたものにすることが狙い。

- 調査対象 民間企業データベースより抽出した、アジアで海外活動を展開している企業約700社(本社が九州に所在するもの)をベースに、九州経済連合会の会員企業、各種セミナー参加企業等を加えた計2,150社
- 調査方法 アンケート票を郵送し、返信用封筒にて郵便で回収(一部、セミナー会場での直接配布やFAX送付等もあり)
- 調査期間 平成25年8月~9月
- 有効回答数 548社

海外展開支援施策説明会の開催

● 九州企業の海外展開を支援するため、各県において、「海外展開支援施策説明会」を開催。

※主な説明機関：日本貿易振興機構、中小企業基盤整備機構、国際協力機構、工業所有権情報・研修館、日本貿易保険、海外産業人材育成協会、九州経済連合会、開催自治体ほか

海外展開支援施策説明会in福岡

日程：平成25年8月7日(水) 15:10~16:30
場所：合同庁舎(福岡市)
参加者：65名



福岡会場の様子



熊本会場の様子



鹿児島会場の様子

海外展開支援施策説明会in佐賀

日程：平成25年7月25日(木) 13:30~16:05
場所：マリトピア(佐賀市)
参加者：78名



佐賀会場の様子



大分会場の様子



施策説明の様子①

海外展開支援施策説明会in熊本

日程：平成25年7月11日(木) 13:30~16:05
場所：熊本市国際交流会館(熊本市)
参加者：89名



長崎会場の様子



宮崎会場の様子



施策説明の様子②

海外展開支援施策説明会in大分

日程：平成25年7月18日(木) 13:30~16:05
場所：全労災ソレイユ(大分市)
参加者：63名

海外展開支援施策説明会in宮崎

日程：平成25年7月19日(金) 13:30~16:15
場所：KITENビル(宮崎市)
参加者：64名

海外展開支援施策説明会in鹿児島

日程：平成25年7月12日(金) 13:30~16:15
場所：かごしま県民交流センター(鹿児島市)
参加者：82名

(2) 産業交流・販路開拓支援事業

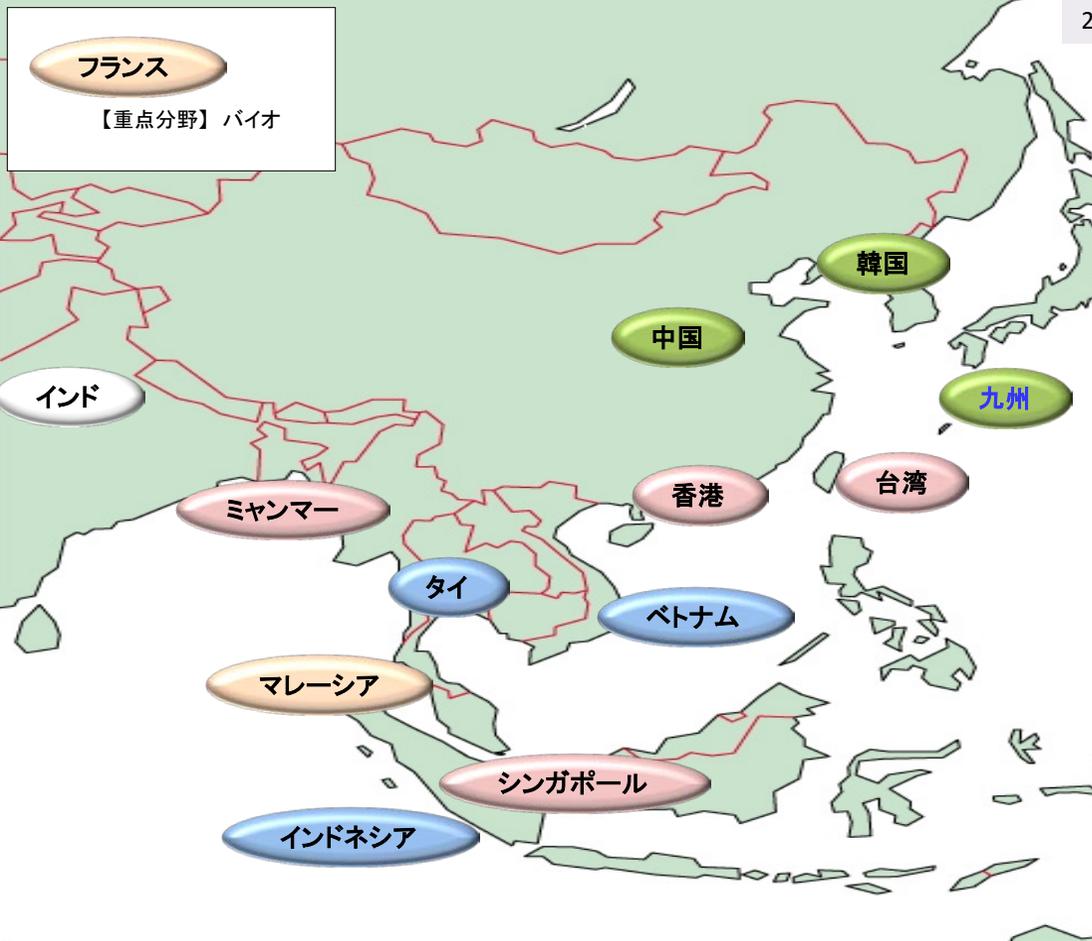
九州とアジアの経済交流 —MOU締結地域等—

【九州経済国際化推進機構が締結したMOU】(相手先が政府機関)

時期	国	締結先	九州側
2009年2月	ベトナム	計画投資省	九州経済国際化推進機構
2012年11月	インドネシア	インドネシア投資調整庁(BKPM)	〃
2012年11月	タイ	タイ政府投資委員会(BOI)	〃

【九州経済連合会が締結したMOU】(相手先が民間団体)

時期	国・地域	締結先	九州側
2011年11月	香港	香港中華総商会	九州経済連合会
2012年6月	台湾	中華民国工商共進会	〃
2012年8月	香港	香港貿易発展局	〃
2012年11月	インドネシア	インドネシア商工会議所	〃
2013年2月	ミャンマー	ミャンマー商工会議所	〃
2013年5月	シンガポール	シンガポールビジネス連盟	〃



【産業クラスターが締結したMOU等】

時期	国	締結先	九州側
2007年11月	韓国	韓国産業団地公団	九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ
2009年2月	中国	大連市	〃
2010年7月	中国	山東省	〃
2013年10月 (LOI締結)	マレーシア	マラッカグリーンテクノロジーコーポレーション	〃
2010年10月 2013年10月	フランス	フランスフードクラスター(F2C)	九州地域バイオクラスター推進協議会
2013年10月	フランス	ブルーブランクール(BBC協会)	〃
2013年11月	ベトナム	ホーチミン半導体産業協会	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協会
2014年度中 (予定)	マレーシア	調整中	〃

環黄海地域等東アジアとの経済交流会議

- 中国、韓国 of 中央政府や経済団体と協力し、環黄海圏等の産業・技術交流や経済交流を図るため各会議を開催。

九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、九州経済連合会が有する国際交流スキーム

環黄海経済・技術交流会議

(2001年～毎年持回り開催) 過去12回開催

【構成】

- ◇中国: 商務部、自治体、大学等
- ◇韓国: 産業通商資源部、経済団体、自治体、大学等
- ◇九州: 九経連、九州経済局、自治体、経済団体、大学等

【内容】 ビジネスフォーラム、
産学官連携学長フォーラム、
ビジネス交流会等

九州・韓国経済交流会議

(1993年～毎年交互開催) 過去20回開催

【構成】

- ◇韓国: 産業通商資源部、経済団体、自治体等
- ◇九州: 九州経済局、九経連、自治体、経済団体等

【内容】

○協力事項の提案・合意、
テーマ別分科会、商談会 等

九州・中国産業技術協議会

(1991年～開催) 過去13回開催

【構成】

- ◇中国: 科学技術部、科学技術交流中心等
- ◇九州: 九経連、九州経済局、自治体、経済団体等

【内容】

○テーマを設定した科学技術フォーラム、交流会 等

【2013年度】

第12回 環黄海経済・技術交流会議

中国 (江蘇省連雲港市)

【2014年度】

第13回 環黄海経済・技術交流会議

九州 長崎県

【2013年度】

第20回 九州・韓国経済交流会議

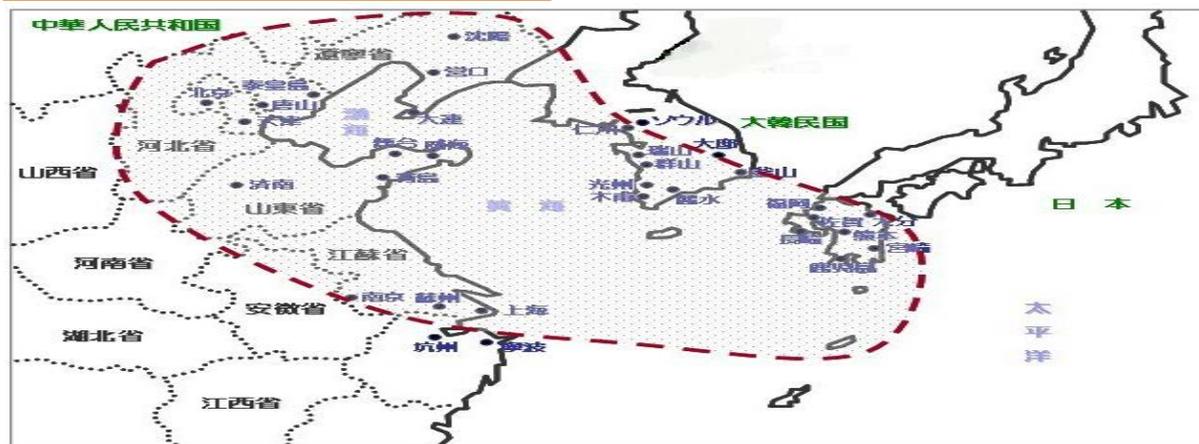
韓国 (釜山広域市)

第14回 九州・中国産業技術協議会

調整中

* 環黄海地域:

上海から大連、仁川から釜山に至る中国・韓国沿岸部及び九州からなる黄海を取り巻く地域経済エリア。同地域の人口は約4億人(全世界の約6%)。GDPは全世界の約5%に達し、ASEAN(同2.3%)を上回る水準に達する。



第12回 環黄海経済・技術交流会議

- 第12回会議は、平成24年度は延期となったものの今回2年ぶりに開催。地域が主体となった日中韓の産学官関係者による経済・技術交流を図る国際会議として注目を集めた。
- 「日中韓交流拡大、循環型経済発展、共同発展促進」をテーマに、「環境」「物流」など多様な分野での相互協力・提案がなされた。

第12回(2013年)会議

開催日時: 2013年11月6日(水)～7日(木)
開催場所: 江蘇省・連雲港市(花果山国際ホテル)
参加規模: 約200名 (九州:50名、韓国:50名、中国:100名)

各国代表者

- ◇九州 麻生 泰 (一社)九州経済連合会会長
(九州経済国際化推進機構 会長)
廣實郁郎 九州経済産業局長(同上 顧問)
- ◇中国 宋耀明(ソン ヤオミン) 商務部亞洲司 副司長
- ◇韓国 李誠浩(イ・ソンホ) 産業通商資源部通商協力局 審議官
李鐘允(イ・ジョンユン) (社)韓日経済協会 副会長

次回、第13回(2014年)開催地

長崎県 (11月25～27日)

(参考)政府間ハイレベル協議での積極的な評価

第5回日中韓サミット共同宣言(2012年5月13日、中国・北京)において同会議は3か国の経済貿易協力の更なる発展を推進するための奨励すべき3国間地方レベル協力として明記された。同じく第9回日中韓貿易大臣会合(2012年5月12日)においても、同会議が、貿易投資促進、産業・物流協力、科学技術交流、人材育成等において、建設的な役割を担っていることが確認された。



第20回九州・韓国経済交流会議

- 九州と韓国が、双方の資金、技術、人材等の地域資源を相互補完し、貿易、投資、産業技術の交流拡大と地域間交流の促進を目的とする定期交流の場として、平成5年(1993年)から毎年交互に開催。

第20回九韓会議(本会議)

- 日時 : 2013年10月1日(火)9:00-12:40
- 会場 : 釜山ロッテホテル3階クリスタルボールルーム
- 主催 : 九州:九州経済産業局、九州経済連合会、機構ほか
韓国:産業通商資源部、韓日経済協会、釜山広域市ほか
- 参加者:126名 (九州:51名、韓国:75名)



李誠浩韓国産業界審議官



本会議の様様



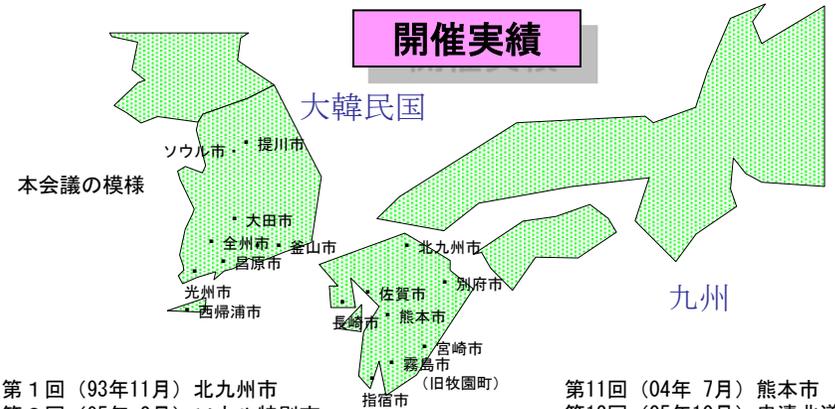
韓国側代表団



廣實九州経済産業局長



九州側代表団



- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 第1回 (93年11月) 北九州市 | 第11回 (04年 7月) 熊本市 |
| 第2回 (95年 2月) ソウル特別市 | 第12回 (05年10月) 忠清北道堤川市 |
| 第3回 (96年 2月) 長崎市 | 第13回 (06年 7月) 佐賀市 |
| 第4回 (97年 6月) 全羅北道・全州市 | 第14回 (07年 7月) 釜山広域市 |
| 第5回 (98年 7月) 別府市 | 第15回 (08年 6月) 北九州市 |
| 第6回 (99年 5月) 光州広域市 | 第16回 (09年10月) 光州広域市 |
| 第7回 (00年 9月) 宮崎市 | 第17回 (10年10月) 北九州市 |
| 第8回 (01年 6月) 慶尚南道・昌原市 | 第18回 (11年11月) 大田広域市 |
| 第9回 (02年 8月) 鹿児島県霧島市
(旧牧園町) | 第19回 (12年11月) 指宿市 |
| 第10回 (03年 7月) 済州道・西帰浦市 | 第20回 (13年10月) 釜山広域市 |
| | 第21回 (14年11月) 佐世保市(予定) |

九韓民間ビジネス商談会

- 日時 : 2013年10月1日(火)14:00-17:15
- 会場 : 釜山ロッテホテル41階サファイア
- 主催 : 九経連、KNOCK、韓日協会、東南圏委員会
- 参加企業:64社(九州:22社、韓国:42社)



商談会の様様

第2回九韓医療・介護フォーラム

- 日時 : 2013年10月4日(金)13:00-17:30
- 会場 : 大韓商工会議所・国際会議場(ソウル)
- 主催 : 韓国長期療養学会、日韓財団、飯塚機構ほか
- 参加者:日韓のヘルスケア関係者約300名



フォーラムの様様

未来志向の九韓会議あり方検討委員会 (第1回九州懇談会)

- 日時 : 2014年3月12日(水)16:00-18:30
- 会場 : ホテル日航福岡5階志賀の間
- 参加者:九州内の有識者、在九州韓国公館等23名



検討委員会の様様

第20回会議までの主な成果

■環境・リサイクル、IT、バイオ分野での地域間ビジネス連携

両地域の企業集団同士で交流促進等に関するMOUを締結し、ミッション派遣や商談会、共同事業を実施。

■九州・韓国ビジネスマッチング事業

(一社)九州日韓経済交流会が(財)韓日産業・技術協力財団、KJ-KNOCK(韓国大田地域の企業集団)及び東南圏韓日経済交流会(釜山・蔚山・慶南の企業集団)とビジネス交流に関するMOUを締結、相互ミッション派遣や商談会を開催。

■人材育成への協力

NPO法人新アジア人材・技術協力機構(現在は(一社)九州日韓経済交流会に移管)と(社)韓日人材・技術協力機構が共同でグローバル人材育成のため、韓国東亜マイスター高校と九州の北九州高専及び久留米高専との交流を促進。

環黄海等東アジアとの経済交流事業による成果

- 環黄海経済・技術交流会議、九州・韓国経済交流会議等をきっかけに九州と中国、韓国との間で多くの交流事業が進展。

1. 環境・リサイクル分野 ～中国遼寧省、山東省等との環境産業交流に発展～

- ・九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)がMOUを締結（韓国産業団地公団(2007年)、中国遼寧省大連市(2009年)、山東省(2010年)、山東省環境保護庁(2011年)）
- ・北京環境交易所とアジア低炭素化センター(北九州市)が協力協定締結。(2011年)
- ・これらMOU等に基づき、環境ビジネスミッションの相互による派遣・受入、セミナー、ビジネス商談会などを開催

2. 九州と韓国との超広域連携 ～環境・バイオ・IT分野での広域連携事業に発展～

- ・「九州・韓国南部地域超国家広域経済連携モデル策定日韓合同調査」実施(2009年度)
- ・(財)北九州産業学術推進機構と(財)釜山情報産業振興院、北九州国際ITビジネス推進会と釜山九州IT融複合協議会がMOUを締結。(2009年)

3. その他企業グループ間の交流 ～多くの商談会が成立し、経済交流を促進～

- ・「エコテクノ(北九州市)」において九州・韓国・中国環境ビジネス商談会を開催。
- ・(社)九州日韓経済交流会と(財)韓日産業・技術協力財団が、産業技術協力・経済協力に関するMOUを締結。(2011年)

4. 人材関係 ～人的交流の発展～

- ・九州における海外インターンシップ生受け入れ組織として、特定非営利法人「新アジア・人材・技術協力(NACS)」を設立し、受入を実施(2009年)
- ・NACSと(社)韓日人材・技術協力機構の主催・協力で、「グローバル人材日本就職フェア」を開催。

5. 大学・研究機関 ～大学と産業支援機関等との協力関係確立～

- ・韓国、中国大学院学生を受入れ(2009年:佐賀大学)
- ・北九州エコタウン実証研究エリアでの韓国、中国学生・社会人向け体験学習の実施(2009年:福岡大学)

MOUを活用したタイとの経済交流

①サブコン・タイランド2013 トライアル出展

- タイBOIの協力を得て、バンコクで開催された「サブコン・タイランド2013」にトライアルブースを出展。

「サブコン・タイランド2013」

- 概要：ASEAN地域最大級の自動車、機械、電気電子分野のサポートインダストリー（下請産業）展示会。タイ、ASEANその他地域から300社を超える部品メーカーが出展。神奈川、富山、大阪も出展。
- 日時：2013年5月16～18日（3日間）
- 場所：タイ・バンコク バンコク国際貿易展示場（BITEC）
- 主催：タイ政府投資委員会（BOI）



九州トライアルブース

②BOI招聘事業（九州・タイ（ASEAN）ビジネスセミナー）

- BOI幹部を招聘し、地場金融機関とも連携して、総合的なセミナーを九州2箇所で集中的に開催。関係者とのネットワーク形成を行うと共に、滞在期間の企業訪問等とも併せて、九州とタイとの協力関係を強化。
- その他、北九州市低炭素化センター、ジェトロ北九州と協力し、北九州市のタイ進出予定企業へのBOI訪問をアレンジしマッチングを実施。鹿児島では、かごしまPR課、ジェトロ鹿児島と協力して、タイ貿易ミッション説明会との同時開催とするなど、機構会員の事業連携を強化。

「九州・タイ（ASEAN）ビジネスセミナー」

開催日	7月31日（水）	8月1日（木）
場所	ハイアットリージェシー福岡	アーバンポートホテル鹿児島
テーマ	「自動車、自動車部品、金型」	「食品、サービス、ものづくり」
参加者数	129名	78名
講師	①タイBOI ボンゴット部長 ②大阪産業大学 前川教授 ③株式会社秦野精密 淵脇社長 ④西日本シティ銀行 廣田取締役 ⑤福岡銀行 青柳取締役	①タイBOI ボンゴット部長 ②スパイダー・イニシアティブ(株) 辻取締役 ③ジェトロ 花田農林食品企画課長 ④鹿児島相互信用金庫 村田室長 ⑤福岡銀行 菊竹室長



福岡会場



鹿児島会場

MOUを活用したインドネシアとの経済交流

- ASEAN地域との更なる経済・産業交流を推進する一環として、2012年11月に締結したMOUに基づき行う初の実務ミッション。
- 「九州-インドネシア・ビジネスマッチング商談会」等の開催により、九州地域とインドネシアの直接投資・貿易の促進及び中小企業等のビジネス・マッチングの促進を図った。
- また、政府機関等への表敬訪問や日系工業団地等の視察を実施し、今後の産業交流に関する意見交換やインドネシア情勢・ビジネス動向の調査を行った。

九州インドネシア経済交流ミッション2013

日 程：平成25年8月19日(月)～8月24日(土) (4泊6日)

主 催：九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、
(一社)九州経済連合会

参加者：総勢20名 (企業11社、長崎県、長崎県立大学)

行 程：

- 8/20(火)
 - ・JETROジャカルタ訪問
 - ・インドネシア投資調整庁(BKPM)表敬訪問
 - ・在インドネシア日本国大使館表敬訪問
 - ・インドネシア商工会議所(KADIN)表敬訪問
- 8/21(水)
 - ・カラワン工業団地(KIIC)視察
 - ・富士シート(株)視察 (カラワン工業団地内)
 - ・スルヤチプタ工業団地(SCI)視察
 - ・武蔵精密工業(株)視察 (スルヤチプタ工業団地内)
- 8/22(木)
 - ・九州-インドネシア・ビジネスマッチング商談会
- 8/23(金)
 - ・PTジーク・ジャカルタ研修センター訪問

【九州-インドネシア・ビジネスマッチング商談会】(8/22(木))

商談件数 : 28件

※九州側参加企業:7社

インドネシア側参加企業:20社



8/22商談会の様子



8/20インドネシア投資調整庁
(BKPM)
表敬訪問

MOUを活用したベトナムとの経済交流

- 九州地域とベトナムとの直接投資・貿易の促進及び中小企業等の交流促進を図ることを目的として、ベトナム政府関係者等への表敬訪問をはじめ、現地コンサルティング会社との個別相談会の開催、工業団地や港湾施設の視察等を実施。
- 日越友好関係樹立40周年記念事業として、福岡市内において、ベトナム政府ベトナム計画投資省トゥー副大臣らによる「日越投資及び科学技術協力フォーラム」を開催。

1. 九州ベトナム経済交流ミッション2013

日程：平成25年8月27日(火)～9月1日(日) 参加人員：43名

○ベトナム計画投資省訪問 他

概要：2009年2月25日に「相互理解と友好を深めながら、両地域の発展に向け、経済交流の促進に協力して取組」MOUを締結。ベトナム工業化戦略の重点分野(造船、環境など)での、今後、一層のビジネスライクな経済交流の活発化、協力関係の強化を相互に確認

○九州ベトナム経済交流セミナー(ハノイ)

概要：ホワン外国投資庁長官による「投資支援策等の説明」やジェットロハノイ川田所長、I.B.C Vietnam Co.,Ltd 市川氏による講演。

交流会：来賓ベトナム計画投資省トゥー副大臣、小川福岡県知事 他

○現地日系コンサルとの相談会(ハノイ、ホーチミン)

概要：ハノイ市、ホーチミン市で、九州の企業7社(食品、薬品、石油販売、車販売、建築設計、健康サービス、金属製品製造)と、ハノイ3社、ホーチミン4社の現地コンサルタントが参加し、ライセンス取得、サプライチェーン・販路の確保などベトナム独自の課題について、延べ14件の相談実施。

2. 日越投資及び科学技術協力フォーラム

日時：平成25年9月19日(木) 場所：電気ビル共創館(福岡市)

主要講演

○「日越協力開発の可能性」について

ベトナム計画投資省 ダオ・クアン・トゥー副大臣

○「ベトナム進出経験と進出に関するアドバイス」

TOTO(株)国際事業本部 国際事業統括部

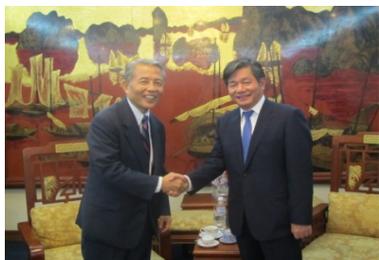
小野 直人 国際事業企画部長

○「ベトナムにおける日系企業の投資の現状とベトナム計画投資省の政策」

ベトナム計画投資省外国投資庁 高田 充人シニア投資アドバイザー

○「ベトナム投資を成功に導く、工業団地開発とサポート体制について」

ベトナム投資支援センター(BTD JAPAN) 中川 良一代表



①計画投資省 ビン大臣との会談



②九州ベトナム経済交流セミナー



③現地コンサルとの相談会



日越フォーラムの様子



講演中のトゥ副大臣

海外販路開拓支援

- 九州企業とアジア地域とのビジネス交流拡大を目的として、平成25年度、九州経済国際化推進機構事業として、環境保護関連の国際見本市である「エコ・エキスポ・アジア」に出展。
- 海外バイヤーを招聘して「九州食品輸出商談会」を開催。国内バイヤーを招聘して熊本市が中心となって開催される「九州食の展示商談会」に併催。

■エコ・エキスポ・アジア2013

「環境保護関連国際見本市」共同出展

- 会期 平成25年10月28日(月)～31日(木)
- 会場 香港・亞洲国際博覧館(香港アジア・ワールド・エキスポ)
- 主催 香港貿易発展局

小間数：8機関(11小間)

<出展者> 推進機構、(株)正興電機製作所、(株)エコファクトリー、(株)修電舎、(株)アシストユウ、(株)システム技研、(株)ビルメン鹿児島、光和電気産業(株)

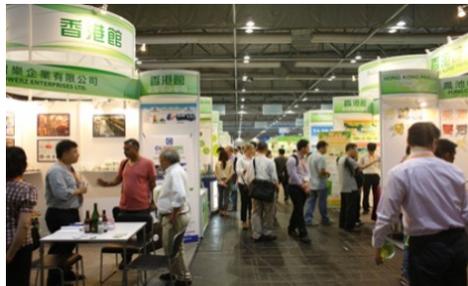
<相談会>

日程：平成25年8月7日(水)

場所：宮崎県庁

* 中小機構九州本部の「シニアアドバイザー」を活用して海外展示会出展勉強会及び個別相談会を実施。

<参加企業> (株)修電舎、(株)アシストユウ、(株)システム技研



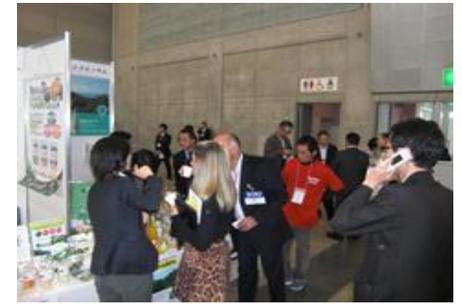
■九州食品輸出商談会

日程：平成25年11月20日(水)～21日(木)

場所：グランメッセ熊本(熊本県益城町)

主催：ジェトロ、九州経済国際化推進機構、熊本県、熊本県貿易協会、熊本市 等

参加企業：60社程度(九州各県の加工食品メーカー等)



(3) 対日投資促進事業

九州地域への投資促進

日本国内投資プログラムと連動した取組として、投資・ビジネス環境情報の整備・発信や、産業立地促進施策の活用により、アジア拠点構想を推進するとともに、海外からの国内投資の促進を図る。

- (1)九州におけるアジア拠点構想の展開(アジア拠点化推進法に基づく国内投資を促進するインセンティブの活用)。
- (2)九州の投資・ビジネス環境情報を整備・発信するとともに、外国企業誘致セミナー等の実施。

アジア拠点構想による効果的なインセンティブの活用

○グローバル企業の呼び込みには、インセンティブのみならず、各種の横断的な事業環境整備が必要。

○立地補助金は、初期投資の早期回収に資するため、特に拠点立ち上げ段階に有効。

制度

税

予算

※枠点線は既存制度

拠点立ち上げ段階

事業安定・拡大期

アジア統括拠点

研究開発拠点

立地補助金

高度外国人材の呼び込みに資する入国手続の円滑化

法人税減免

高度外国人材の国外源泉所得に対する所得税負担軽減

新たな研究課題に対応するための研究開発補助金

設備投資減税

研究開発税制

国内投資・進出事例

【日本ロバロ株式会社(福岡県北九州市)】

- ・世界最大の旋回ベアリングメーカーであるローテ・エルデ社(ドイツ)の日本法人。
- ・アジアでは日本、中国、インドに拠点。
- ・日本法人の活動範囲は日本、韓国。



■その他の進出事例 (一部掲載)

- ・アライアンス・バーンスタイン(株)(米国)【金融商品取引業分野】
.....福岡県
- ・テュフラインランド ジャパン(株) (ドイツ)【製品安全認証分野】
.....福岡県
- ・フレゼニウス メディカルケア ジャパン(株)(ドイツ)【医療分野】
.....大分県、福岡県
- ・ポストン・サイエンティフィック ジャパン(株)(米国)【医療分野】
.....宮崎県
- ・(株)マーレフィルターシステムズ(ドイツ)【自動車部品製造分野】
.....福岡県

シンガポールとの経済交流 ー外国企業誘致ー

- 九州への外国企業誘致を目的に、機構として初めて海外(シンガポール)での対日投資誘致セミナーを実施。

■シンガポール・九州ビジネスフォーラム

日時 2013年7月19日(金) 14:00~17:00

場所 フォーシーズンズ・ホテル・シンガポール

主催 九州経済国際化推進機構 他

内容 ※冒頭、九州経済連合会とシンガポールビジネス連盟(SBF)との間で、MOUを締結。



■九州・シンガポール経済交流セミナー

シンガポールでのフォーラム後、九州企業向けの「九州・シンガポール経済交流セミナー」(主催:九経連、共催:九州経済国際化推進機構他)を開催し、双方向の経済交流を推進。

(7月23日 福岡市)

オープニング	自治体PR	事例紹介	プレゼン1	プレゼン2	プレゼン3
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>開会挨拶</u> 九経連会長 SBF会長 ● <u>来賓挨拶</u> 駐星日本大使 星国際企業庁副長官 	<ul style="list-style-type: none"> ● 会場内の自治体ブースで、九州各県・政令市のPR。 ● 九州観光DVDの上映。 	九州でビジネス(太陽光発電)を展開予定のシンガポール企業によるプレゼン。	<u>日本の投資環境について</u> ジェトロ・シンガポール	<u>九州のビジネス環境について</u> 九州経済産業局	<u>九州の観光について</u> 九州観光推進機構

* 開会挨拶1



麻生会長

* 来賓挨拶1



在星 鈴木日本国大使

* フォーラム会場



約150名が参加

* 九州の自治体情報ブース



(4) 人材交流事業

グローバル産業人材を育成・支援する組織

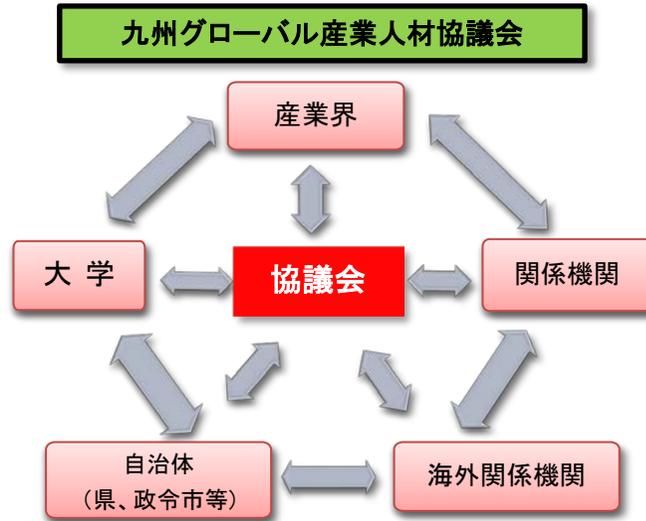
九州グローバル産業人材協議会(2011年11月28日設立)



目的 企業ニーズに即した「グローバル産業人材(*)」を戦略的に育成・輩出し、九州企業のアジアビジネスへの進出など、海外事業展開等を人材面から支援することで、九州経済の活性化に寄与する。

*「グローバル産業人材」・・・日本語に堪能な外国人留学生、外国語に堪能で外国事情に詳しい日本人学生等、企業が海外ビジネスを展開する際に活躍出来る人材。

実施体制



← プラットフォームとしての役割

← 産学連携の深化

← オール九州での広域的な取り組み

- ◇会 長:九州経済連合会 会長
 - ◇副会長:福岡大学 学長、麻生塾 理事長
 - ◇顧 問:九州経済産業局長、福岡労働局長
 - ◇会 員:経済団体、大学等、行政機関、支援機関、企業(随時募集中)
- (事務局:九州経済連合会、麻生塾)



(2011年11月28日 設立総会)

実績(平成25年度)

- ✓ 企業ニーズに即したインターンシップ
 - ・ 夏季及びPBL型インターン実施(併せて事前・事後研修を実施)。
- ✓ 九州企業と留学生等との交流フェア
 - ・ 企業と留学生等の相互理解の促進、就職支援の実施。(10回実施)
- ✓ 学生・企業向けセミナー
 - ・ 就職セミナー、グローバル産業人材活用セミナーの実施。(7事業を実施)
- ✓ 外国人社員の定着支援
 - ・ セミナー、カウンセリング、交流会の実施。(5事業を実施)

内定獲得・就職状況

合計	114名
留学生	102名
日本人学生	12名

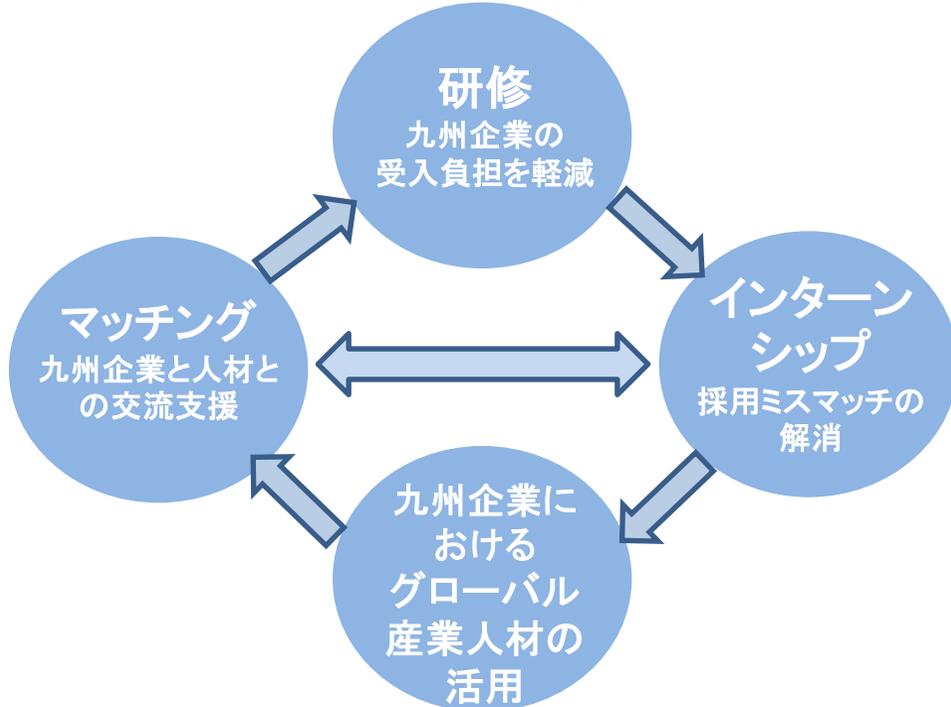


(企業と留学生等との交流会)

九州グローバル産業人材協議会の活用事例①

- 企業の人材ニーズ、学生の希望をマッチングし、両者にとってメリットとなるインターンシップを実施。
- 企業は、グローバル産業人材採用可能性の判断や、社内の国際化、活性化などの効果も。
- 学生は、日本企業をより深く知る機会と就業体験というかけがえのない経験が得られる。

九州グローバル産業人材協議会インターンシップ ～ 企業とグローバル産業人材をつなぐ架け橋 ～



インターンシップの概要と実施結果

(1) 企業アンケート調査

対象学生、研修課題、受入状況など企業ニーズを把握

＜企業・機関からの応募＞

平成24年度：九州の企業・団体等：84社・機関

平成25年度：九州の企業・団体等：71社・機関

(2) 参加学生の受付・マッチング（受入機関の決定）

＜学生からの応募＞

平成24年度：97名（留学生63名、日本人学生34名）

平成25年度：118名（留学生84名、日本人学生34名）

＜マッチング結果＞

○受入機関・企業 平成24年度：29社・機関

平成25年度：34社・機関

○学生 平成24年度：63名（留学生38名、日本人学生25名）

平成25年度：73名（留学生47名、日本人学生26名）

(3) 「インターンシップ事前研修会」の開催

＜実施内容＞

・日本企業におけるビジネスマナー

・社会人基礎力の要請 等の研修

(4) 「インターンシップ」の実施

(5) 「インターンシップ成果報告会」の開催

＜実施内容＞

参加学生、インターンシップ受入企業等も参加した成果報告。



事前研修会「ビジネスマナー研修」

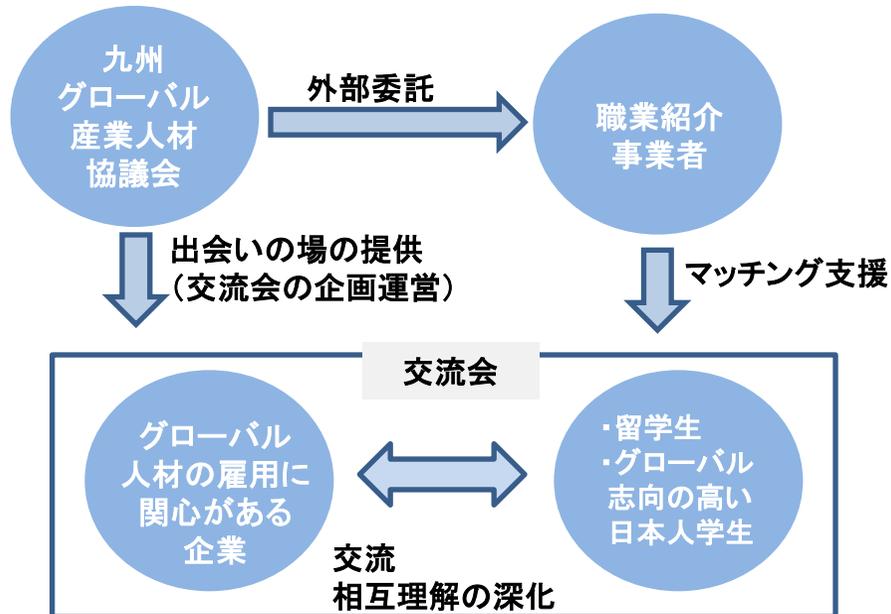


インターンシップでの就業体験

九州グローバル産業人材協議会の活用事例②

- グローバル人材の雇用に関心がある企業と学生との交流会を実施。
- 企業・学生向けにセミナーを同時開催して、参加メリットの向上も。
- 交流会に参加した企業・学生で希望者についてはマッチング事業の実施。

九州グローバル産業人材協議会 交流会



交流会の実施状況

【平成25年度】

福岡市(5月)・・・参加学生85人、出展企業12社
 北九州市(6月)・・・参加学生83人、出展企業15社
 鹿児島県(8月)・・・参加学生35人、出展企業16社
 宮崎県(11月)・・・参加学生52人、出展企業7社
 大分県(12月)・・・参加学生49人、出展企業10社
 佐賀県・長崎県(12月)・・・参加学生17人、出展企業6社
 熊本県①(12月)・・・参加学生95人、出展企業16社
 熊本県②(1月開催)・・・参加学生12人、出展企業2社
 鹿児島県(1月開催)・・・参加学生20人、出展企業12社
 福岡市(1月開催)・・・参加学生72人、出展企業8社



セミナー



交流会



交流会